

東京大学史料編纂所

研究紀要

第36号

2026年3月

目次

研究報告

今川了俊南九州経営代官の再検討

慶長六～九年の鍋島直茂・同勝茂と徳川家康

『閑窓自語』における古典籍引用と柳原家旧蔵本の受容について

松平忠矩（松平九郎麿昭休）の松平下総守家離縁一考

——「池田茂政関係史料群」伝来経緯に関連して——

近世大名の養嗣子付史料群の形成過程

——忍藩世嗣松平忠矩（池田茂政）を事例として——

史料紹介

国文学研究資料館所蔵「中臣祐臣記（正和五年）」（下）……土山祐之・藤原重雄……二三

網光公記——「網光公維摩会参向記」、「賀茂祭用脚記」、「康正元年八月二十七日記」

附 広橋兼郷日記逸文——

……遠藤珠紀・須田牧子・田中奈保・桃崎有一郎……二四

春浦宗熙・実伝宗真『籌子』の解題と翻刻……岡本 真……三三

天龍寺妙智院所蔵『謙斎雜稿』……白井和樹・岡本真・須田牧子……二六

京都女子大学図書館所蔵「覚（早川太兵衛大坂鎗場之次第）」の

翻刻と基礎的考察……堀 智博……一八

江戸町奉行池田頼方書状……渡 辺 浩 一……二五

公益財団法人陽明文庫『一般文書目録』「仏教」の紹介（一）

……藤井讓治・尾上陽介・林晃弘・遠藤珠紀……一六

堀川 康史……一

及 川 亘……三

芝 崎 有里子……三三

世 川 祐 多……三

澤 村 怜 薫……五

石 津 裕 之……六

尾 上 陽 介……六